

3 スポーツのあるまち・くらしづくり

現状と課題

●スポーツを通じた健康づくり、仲間づくり

スポーツの楽しみ方が広がる中で、高齢化に伴う健康への関心や仲間・家族との交流を望む声が強まっており、スポーツのもつコミュニケーション機能を生かした人間味あふれる豊かなまち・くらしづくりが課題となっています。

●スポーツコミュニティの創造と場づくり

身近な地域に活動拠点をもち、子どもから高齢者まで、いろいろな種目を自由に楽しめるスポーツ活動の多様な場づくりが求められています。

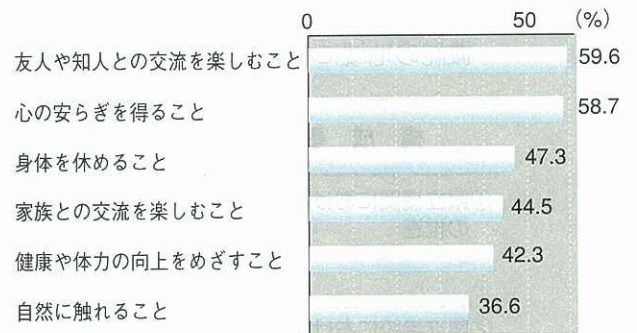
そのため、コミュニティに根ざして、まちぐるみで取り組むスポーツの新しいしくみづくりを進める必要があります。

●かながわ・ゆめ国体への期待

1998年（平成10年）に開催される国民体育大会と全国身体障害者スポーツ大会を契機とした地域のスポーツ振興への期待は高く、国体施設の利用促進、かながわ育ちの国体選手やスポーツボランティアの活用など、まちぐるみで、誰もがスポーツを楽しむ環境づくりが必要です。

また、身近なスポーツ施設として、学校施設開放の促進が望まれていることから、これらの施設を県民が利用しやすいようなシステムの整備が課題となっています。

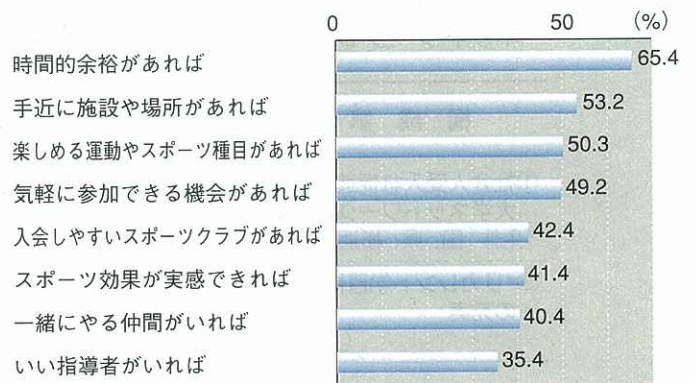
余暇に求める人々の楽しみや目的意識



(複数回答)

(資料 余暇開発センター「レジャー白書」 95年4月)

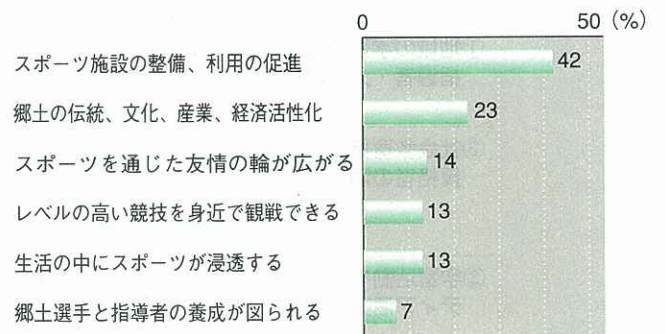
定期的なスポーツ実施の条件



(複数回答)

(資料 (財)健康・体力づくり事業団「運動・スポーツの障害要因に関する調査研究報告書」95年)

「かながわ・ゆめ国体」への県民の期待



(複数回答)

(資料 時事通信社「地域政策情報 神奈川県版」 95年度版)

(1) スポーツコミュニケーション運動の展開

スポーツを通じた生きがいの追求や仲間づくりなどを重視するスポーツコミュニケーション運動を進めるため、かながわ・ゆめ国体で開催した種目や特色あるまちのスポーツなどを、“わがまちのスポーツ”として定着・発展させる“まちぐるみスポーツ運動”を提唱するとともに、特色あるスポーツイベントの開催などに取り組みます。

また、学校部活動において地域社会や他校との交流を進め、部活動の活性化を図ります。

主要施策 まちぐるみスポーツ運動の提唱・推進

70

かながわ・ゆめ国体で普及したわがまちのスポーツを引き続き支援・拡充し、県民の体力づくり運動を支援します。また、外国籍県民や外国人とスポーツを通して交流を深めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①わがまちのスポーツの推進 (主体：県、市町村、民間)	推進体制の確立、 市町村支援	同 左 コミュニケーションスポーツイベントの開催	・推進会議開催、市町村への助成 ・啓発表示の設置 ・身近なスポーツイベント（ウォーク・体操等）の開催	県総合体育大会、市町村対抗駅伝等の開催
②青少年スポーツ運動の奨励 (主体：県、民間)	青少年の体力づくりの推進	普及啓発活動の推進	・ビデオ制作、講習会開催 ・調査、研究	
③国際色豊かなスポーツ・文化交流の促進 (主体：県、民間)	交流イベントの開催	同 左	・スポーツ少年団交流事業の支援	ドイツ・スポーツユースととのスポーツ交流支援

主要施策 学校の運動部活動の活性化

71

生徒が個性や目的に応じてスポーツに親しめる条件整備を進めるとともに、運営や指導に関する研究開発等を行い、地域との交流を含めて活動できるような部活動の推進に取り組みます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①望ましい部活動の開発と推進 (主体：県)	活動環境の充実 運動部活動の活性化	同 左 効果的な指導方法の導入 新しい活動モデルの開発	・運動部活動のあり方等についての研究協議会の開催 ・指導方法等のプログラム開発 ・運営方法研修会の開催 ・学校間連携によるモデル事業	中学校・高等学校の部活動奨励事業の実施
②運動部活動の安全対策 (主体：県)	活動中の事故の未然防止	同 左	・安全対策のための講習会開催、物品整備 ・施設・設備の安全点検	

(2) 暮らしに根づくスポーツのしくみづくり

誰でも、身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、地域社会に密着した多目的、複合型のスポーツクラブシステムの開発やコミュニティレベルで組織するスポーツ推進体制の整備など、暮らしに根づくスポーツを支援するためのしくみづくりをめざします。

また、かながわ・ゆめ国体の開催を契機に充実したスポーツ組織・団体をさらに発展させることにより、本県におけるスポーツ振興の中核としての機能を担う、民間主導のスポーツ推進体制の整備を図ります。

主要施策 スポーツコミュニティのしくみづくり

72

学校や職場、世代を越えて誰もがいろいろなスポーツを楽しめる場のしくみづくりや、人材の育成と活用のためのネットワーク化を図り、スポーツを通じたコミュニティづくりに取り組みます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①スポーツの人材育成と活用のネットワーク化 (主体：県、市町村、民間)	指導者の育成と活用 スポーツコミュニティ推進体制の整備	同 左	・生涯スポーツ指導者育成のための研修会開催 ・スポーツコミュニティ推進組織の設置	
②総合型スポーツクラブの開発とシステムづくり (主体：県、市町村、民間)	クラブシステムの推進体制の整備	調査研究 モデル開発	・既存クラブの実態調査 ・システム開発協議会の開催 ・モデル事業の推進	

主要施策 国体を通じてスポーツを拡げる体制づくり

73

かながわ・ゆめ国体の開催により向上した競技力や組織力をさらに拡充し、また、スポーツ活動の推進基盤をより強化するため、スポーツ振興団体の再編などに取り組みます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①スポーツ水準の向上と指導者の組織強化 (主体：県、民間)	競技力の向上	コーチ会議の開催	・トップレベルのコーチを中心とした会議の開催	生涯スポーツ振興会議へ支援
②スポーツ振興組織の強化 (主体：県、民間)	スポーツ振興組織の再編整備	財団設立	・かながわスポーツ振興財団(仮称)の組織化(生涯スポーツ振興会議を発展的に改組)	
③スポーツ科学の普及と研究の推進 (主体：県、市町村、民間)	スポーツ科学・医学の拡充	啓発講座開催研究体制の整備	・スポーツ医学講座の開催 ・スポーツ科学の研究	県の体育施設におけるスポーツ維持体力相談
④スポーツ情報サービス機能の強化 (主体：県、市町村)	スポーツ情報提供の充実	同 左	・スポーツ広報番組・ビデオ制作	スポーツリーダーバンクの整備、生涯学習放送番組「健康とスポーツ」制作放映

(3) スポーツ活動の多様な場づくり

県民スポーツ振興の中核施設として長く親しまれてきた県立体育センターの機能再生と強化を図るとともに、県、市町村、民間の役割分担のもとで、県立スポーツ施設の運営の改善を図ります。

また、かながわ・ゆめ国体で充実した競技施設をはじめとするスポーツ施設を、誰もが気軽に利用できるよう、オープン利用や地域間の連携による相互利用のシステムづくりに取り組みます。

主要施策 県立スポーツ施設の改善

74

県立体育センターを県の総合的・中核的な施設として機能充実を図るとともに、地区体育センターや、かながわ・ゆめ国体の会場である馬術場やカヌー場等を、県民のニーズにあわせて運営します。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①県立体育センターの機能の充実 (主体：県)	県の総合的・中核的施設としての整備	整備の方向等の検討	・新しい時代のニーズに対応したセンター機能の検討・調査	
②県立スポーツ施設の県民利用の推進 (主体：県、市町村)	利用機会の充実	同 左	・新たな県立施設の運営開始（カヌー場、馬術場等） ・県央地区体育センターの市への移管	



市町村対抗駅伝競走

主要施策 スポーツ施設のオープン化の促進

75

学校の体育施設の利用を促進するとともに、地域の人々による自主的な運営ができるしくみづくりに取り組みます。

また、かながわ・ゆめ国体で整備された施設等を市町村域を越えて、誰でも気軽に利用できるようなくみづくりを進めます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①学校体育施設利用の促進 (主体：県、市町村)	学校体育施設の有効利用	利用システムの整備	・利用者を主体とした自主管理システム開発	県立学校体育施設の開放 コミュニティスクール、スポーツ教室の開催
②施設間相互利用システムの開発 (主体：県、市町村)	体育施設の市町村間相互利用推進体制の整備	市町村間連携の推進 施設情報の提供 モデル事業実施	・市町村間連携推進会議の開催 ・施設情報の市町村間の相互提供 ・相互利用のモデル事業の実施	
③国体競技施設のオープン化 (主体：県、市町村、民間)	施設のオープン利用の促進	同 左	・“国体記念の日”を設定し施設無料開放を実施 ・施設でのイベント開催 ・オープン化促進会議開催	ファミリースポーツサタデー（施設無料開放）等の実施

(4) かながわ・ゆめ国体の開催

県と市町村、競技団体などとの連携による推進体制の充実・強化に努めるとともに、スポーツボランティアの導入などを図り、誰もが参加でき、楽しめる「かながわ・ゆめ国体」の実現に取り組みます。

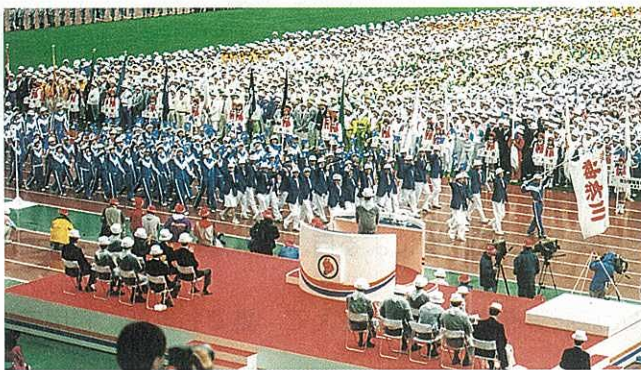
また、国体後の地域での活用を展望しながら、県立の国体競技施設の整備を進めるとともに、市町村施設などの整備への助成を行います。

主要施策 神奈川らしい国体の開催

76

誰もがくらしの中で、スポーツに親しむことができるよう、1998年（平成10年）を「国体イヤー」と位置づけ、第53回国民体育大会や第34回全国身体障害者スポーツ大会を中心に、多彩なスポーツイベントを開催し、生涯スポーツ時代にふさわしい国体づくりに取り組みます。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①かながわ・ゆめ国体の開催 (主体：県、市町村)	かながわ・ゆめ国体の開催	98年度開催	・かながわ・ゆめ国体実行委員会の運営と支援	実行委員会及び各種委員会等開催
②かながわスポーツボランティアバンクの運営 (主体：県)	リハーサル大会及び本大会での活用	98年度開催	・スポーツボランティアの募集・登録	募集・登録開始(96年度)
③かながわ・ゆめ国体募金の推進 (主体：県)	目標額5億円	98年度まで実施	・募金活動の実施	募金活動実施(96年度)



神奈川県選手団の入場行進
(第51回ひろしま国体)

主要施策 国体競技施設の整備

77

かながわ・ゆめ国体の運営を円滑に行うとともに、生涯スポーツの拠点づくりを視野に入れ、県立競技施設の整備や市町村競技施設整備への助成を行います。

構成事業	事業目標 (1997~2006)	事業計画		現況
		2001まで	内容	
①県立競技施設の整備 (主体：県)	馬術場及びカヌー場の整備	97年度完成	・津久井馬術場（仮称）、清川カヌー場（仮称）、山北特設カヌー場（仮称）の整備	津久井馬術場（仮称）管理棟、清川カヌー場（仮称）管理棟完成
②市町村競技施設整備への助成 (主体：市町村)	施設整備の促進	98年度完了	・市町村施設整備費に対する助成 6市3町11施設	32施設完了

■各市町村で開催される国体競技種目

